



21 野外炊事(屋内炊事)

青森県立種差少年自然の家



○活動の概要○

仲間と協力して野外や館内で食事づくりを行います。

1 ねらい

野外炊事等を通して火おこしの仕方や炊事方法を知り、仲間との協調性を育みます。
(小学校 家庭 中学校 技術・家庭)

2 場所・人数・期間・時間

- ① **場所・人数** キャンプ場(調理場・かまど) 150人以内(1グループ3~6人程度)
小ホール40人、プレーホールと大ホール120人以内(水道設備なし)
自然観察室40人以内(水道設備あり)
- ② **期間** 通年
- ③ **時間** 3~5時間

3 職員の支援について

用具貸出し時と返却時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

| 区分 | 準備物 | 備考 |
|------|--|---|
| 団体 | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急車両 ・洗剤、粉クレンザー、ふきん、洗剤用スポンジ、キッチンペーパー、マッチ又はライター、ゴミ袋、新聞紙 ・スチールウールたわし、殺虫剤等 ・食事材料等 | |
| 個人 | <ul style="list-style-type: none"> ・野外活動に適した服装 ・軍手、タオル ※必要に応じて雨具、虫よけスプレー | |
| 自然の家 | ※炊事用具及び食器類は別紙の貸出し物品一覧表を参考にしてください。 | |
| 斡旋可能 | <ul style="list-style-type: none"> ・かまど燃料セット(木炭3~4本、束薪1/2) ・携帯用ガスカートリッジ(荒天時用) ・卓上カセットコンロボンベ(荒天時用) ・野外炊事セットメニュー | <ul style="list-style-type: none"> } 利用案内の教材斡旋価格 } 一覧表を参照 |

5 引率者の役割分担

| 係名 | 役割 |
|-------|-------------------|
| 代表責任者 | ・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。 |
| 救護係 | ・緊急時の救護、搬送にあたる。 |

6 活動の流れ

- ① 用具の準備
- ② 活動説明(代表責任者)
- ③ 炊事
- ④ 食べる
- ⑤ 片づけ・まとめ

7 その他

- ・ 火を使う活動なので、やけど防止のため、長袖、長ズボン、軍手を着用してください。
- ・ 借用用具が多い場合、返却チェックに時間がかかります。活動時間を確保したい場合は、調理用具や食器類を持参することをおすすめします。
- ・ 荷物搬入でキャンプ場に乗り入れる自家用車は2台までにしてください。路面状況が悪い場合は、自家用車で乗り入れることはできません。その場合はリヤカーを貸し出します。
- ・ 荒天時は、館内で卓上コンロを利用して活動することができます。
- ・ 残飯などの生ゴミは、なるべく出さないよう工夫をお願いします。

《資料》

野外炊事の様子

①炊事の準備



②火おこし



③かまどでの調理



④食事

